

昭和二十五年十二月一日提出
質問第一四八号

朝鮮内戦と日本人の生死に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年十二月一日

提出者 横田 甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

朝鮮内戦と日本人の生死に関する質問主意書

一 朝鮮内戦発生以来、日本人にして、国連軍による徴用あるいは日本政府の命令、又は自己の意思によつて好んで勇躍、戦いと流血の朝鮮に行つてゐる人は何人位か。

二 朝鮮半島、朝鮮領海及び朝鮮海岸に強制、任意を問わず、現存しておる人たちはどのような作業に従事し、どの程度の給與を受けてゐるのか。

三 外電、外紙によると、日本人が、今どき朝鮮の内戦で死亡している記事が相当伝えられている。国連の論議にさえも、右のことが米、ソ両陣営から訴えられているようではないか。それにもかかわらず、日本政府は、一人も死んでおりません。参加しておりませんというのか。事は日本人の人命にかかわることであるから、明答をえたい。

四 朝鮮事変が混乱するにつれ、第三次大戦の危機がうんぬんされているが、第三次大戦になると否にかかわらず、南北の朝鮮人よりうらみを受けたり、他国の戦禍にまき込まれたり、日本人が死なねばな

らない危険なばかな状態に追い込まれないようにするために、政府は、防止対策をいかに講じているか。

又政府の見解如何。

右質問する。